

(講座) 臨床薬学
(氏名) 児玉幸修

(研究室) 病院薬学
(職名) 助教

【研究テーマ】

1. 医薬品の適正使用に関する研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. T Kurosaki, T Kitahara, S Kawakami, Y Higuchi, A Yamaguchi, H Nakagawa, Y Kodama, T Hamamoto, M Hashida, H Sasaki.: Gamma-polyglutamic acid-coated vectors for effective and safe gene therapy. *J. Control Release*, **142**, 404-410 (2010). (IF: 5.690)
2. T Kurosaki, T Kitahara, S Fumoto, K Nishida, K Yamamoto, H Nakagawa, Y Kodama, N Higuchi, T Nakamura, H Sasaki.: Chondroitin sulfate capsule system for efficient and secure gene delivery. *J Pharm Pharm Sci.* **13**, 351-61 (2010). (IF: 2.042)

B 邦文

(B-a) 原著論文

1. 児玉幸修, 樋口則英, 森田光貴, 佐藤加代子, 濱本知之, 藤秀人, 北原隆志, 佐々木均: 市販ソフトを用いた制吐療法設計支援システムの開発とその評価. 日本病院薬剤師会雑誌 **46**, 1261-1264 (2010).

(B-c) 著書

1. 児玉幸修, 佐々木均: 制吐療法設計支援システムを利用した制吐療法適正化の試み. *Pharmacy Today* **23**, 16-21 (2010).

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 佐藤加代子, 上村理沙, 児玉幸修, 樋口則英, 藤秀人, 北原隆志, 佐々木均: 炭酸カルシウムと胃酸分泌抑制剤との併用による副作用発現について, 日本薬学会第130年会, 平成22年3月28日-30日, 岡山
2. 黒崎友亮, 北原隆志, 児玉幸修, 藤秀人, 濱本知之, 佐々木均: γ -Polyglutamic acid被膜型遺伝子ベクターの開発, 第26回日本DDS学会, 平成22年6月17日-18日, 大阪
3. 児玉幸修, 樋口則英, 江頭かの子, 中嶋幹郎, 中村忠博, 藤秀人, 北原隆志, 佐々木均: ネダプラチン含有レジメンにおける制吐療法の実態調査と催吐リスクの検証, 第20回日本医療薬学会年会, 平成22年11月13日-14日, 幕張

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	14 編	(邦文)	13 編
総説 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	2 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
特許	0 件		